

法人の名称 特定非営利活動法人WE21 ジャパンひらつか

1. 事業の成果

① SDGs の語が持つ世界の期待度が義務感と共に浸透し、事業・活動の根底に位置していると思われた2021年度であったと振り返ります。20年以上のWE21 ジャパンの活動は、地域で生きる人々からここがあって当たり前、日々の暮らし方が世界が求める資源循環の在り方に沿っている、と信頼を得てきた実感を持ってました。資源循環、環境保全の事業をより前に進めるためにリメイク事業に加えて、廃棄されてきた白い木綿の布地を紙に作り替えるCCF、焼却の道しかなかった使い古されたダウンを再び製品化、再使用化に道を開いたGDPグリーンダウンプロジェクトの進展など、SDGsを体現している自負も生むことができていました。

コロナ禍が終わりを見せず、感染の危険を避けるためにWEショップに足を運ぶためらいを口にされる方が減らないのが残念な2021年であったと感じています。平塚市が「まん延防止等重点措置」に指定されてWEショップは営業時間を短縮するなどもしました。資源循環のことばや世界の子どもたちのために役立てることがあることを知ることができてここで過ごせる時間があることがありがたい、と語る多くの来店者からの言葉がWE21 ジャパン活動の評価になっていると心強い思いを得ました。

② アジア等における市民、とりわけ女性と子どもたちの様子を大きく気にかけた2021年でした。生活の向上と自立のための活動を支援する事業を進めてきました。コロナ禍の中で力を削がれる日々が多かったのではないかと気がかりました。長く協力関係を続けているインド西ベンガル州の Kolkata を基点とする NGO DRCS Cからの情報提供から現地暮らし人々の様子を知ることができていました。ニューデリがあるインド東部に比較して西ベンガル州の Kolkata は特に広い農業地帯であり、感染陽性者は多くはなかったとも聞きました。アメリカに次いで世界第2位の感染者が多い国であり協力地の人々の様子が大きく気がかりました。毎年訪ねていたモニタリング事業が出来ませんでした。フィリピンのシキホール島の教育支援、アフガニスタンでの識字教育協力、カンボジアでは幼児の栄養改善協力事業など、協力先の人々の様子は現地からの報告が続いてはあっても気にかかる1年でした。途切れずつながり続けていることの強さを感じることができていました。

③ 多文化共生を進めるための事業は、ひらつか独自事業が活動拠点を整理したために目立った進展を得ることができていませんでした。WE21 ジャングループ内の有志地域、横浜市神奈川区、川崎市宮前区、藤沢市、茅ヶ崎市、と私たち平塚市で構成している「WE21 ジャパン多文化共生チーム」がたゆまず活動を続け、主に外国籍、特にニューカマーと呼ばれる人々の神奈川県での暮らし方の特異性を学び続けてきました。生きにくい社会がまだあることを確認せざるを得ない活動になっています。

④ 地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業は、市民、会員の関心が高くなっています。継続して進めてきたインド西ベンガル州の NGO DRCS Cとの強い結びつきはWE21 ジャパンひらつかの特徴と言えます、またフィリピンシキホール島の NGO シキホールエンジェルへの協力事業は首班者の特異な経歴、元平塚市公立小学校の教諭であったことが市民への説明に力が入る効果もあって、継続する心強さが生まれています。2021年度はコロナ禍で報告会の開催が出来なかったなど残念な日々とも言えますが、関係の深さ、強さは変わらなかったと確信できるものでした。

⑤ この法人の事業の広報普及を図る事業は、WE21 ジャパンひらつかの外からの働きかけが多かった2021年度になりました。ひらつか市民活動センターがオンライントーク番組を開催し、10月にWE21 ジャパンひらつかが特集され出演しました。これがタウン紙に掲載され、好評を得ました。このタウン紙は市内の浸透度が高く多くの市民が関心を持って読まれています。続いてこのタウン紙に11月、WE21 ひらつかの代表が特集記事にもなり活動の市民権が高まった感触も得ることができました。翌12月にはドラッグストアで開催したマルシェにWE21 ジャパンひらつかが指定招聘されました。リメイク品とフェアトレード品を掲示・販売して活動をアピールしました。同月、地域のFMラジオ局から「この人と60分」と言う生放送番組に出演依頼があり、WE21 ジャパンの活動を力強く語る時間を得られました。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

- ・内容 限りある資源の有効活用を広く市民に伝え、寄付品として提供を受け販売して収益を事業活動と支援事業に活用する。
- ・日時 通年
- ・場所 WEショップひらつか代官町店・・・平塚市代官町 11 - 30
WEショップひらつか旭店・・・平塚市徳延 563 - 2 - 102
- ・従事者人員 延 2, 289 人
- ・対象者 平塚市と近隣の市民
- ・支出額 7, 767, 930 円

② アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業

・内容 支援先のNGO、NPOの事業を共有して、互いに協力し合う民際支援協力活動を進めた。インド西ベンガル州を基点にするNGOのDRCSCや、NPO法人シェア＝国際保健協力市民の会、JVCが進めるアフガニスタンでの識字教育、NPO法人ジュマ・ネット、JIM-NET（日本・イラク医療支援ネットワーク）に継続して支援協力を進めた。

「東日本大震災復興支援」も継続し、福島県を拠点に活動するNPO法人ザ・ピープルに支援した。

国内の支援事業は西日本豪雨災害被災地への緊急募金活動も進めた。

- ・日時 通年
- ・場所 WEショップひらつか代官町店・・・平塚市代官町 11 - 30
WEショップひらつか旭店・・・平塚市徳延 563 - 2 - 102
- ・従事者人員 12 人
- ・対象者 日本、インド、カンボジア、バングラデシュ、フィリピンの主に女性や子どもたちとシリア難民、アフガニスタンでの識字教育、フィリピンシキホール島の小中学校の子どもたちに文具や小楽器を送る活動。横浜市中区で生きる住居困難者、いわゆるホームレスの人へのマスクを中区の日本基督教団を通して届けることができた。
- ・支出額 316, 686 円

③ 地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業（教育・共育事業）

- ・内容 WE21 ジャパンひらつかの会員と会員以外の市民を対象にNGOシェアが進めるカンボジアの母子保健活動報告会を開いた。
- ・日時 2021年10月

- ・場所 WEショップ代官町店
- ・従事者人員 10名
- ・対象者 一般市民
- ・支出額 10,897円

④ この法人の事業の広報普及を図る事業

- ・内容 ショップ内外の掲示等により情報提供を解りやすく来店者、会員、市民へ発信した。リーフレットを作成した。
- ・日時 通年
- ・場所 ひらつか市民活動センター、広報担当理事の自宅
- ・従事者人員 4名
- ・対象者 会員、一般市民
- ・支出額 19,443円